



2021年1月12日

各 位

会 社 名 株式会社インターアクション  
代表者名 代表取締役社長 木 地 伸 雄  
(コード番号 7725 東証第一部)  
問合せ先 経 営 企 画 室 I R 担 当  
電話番号 045-263-9220

### 2021年5月期通期連結業績予想の公表に関するお知らせ

当社は、2020年10月12日に公表いたしました「2021年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」において未定としておりました2021年5月期通期連結業績予想について、下記のとおり算定いたしましたのでお知らせいたします。

記

(1) 2021年5月期通期連結業績予想(2020年6月1日～2021年5月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	未定	未定	未定	未定	未定
今回発表予想(B)	6,587	1,707	1,697	1,122	102.26
増減額(B-A)	—	—	—	—	
増減率(%)	—	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (2020年5月期)	7,083	1,555	1,545	1,004	91.94

(2) 公表の理由

2021年5月期通期連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症や米中貿易摩擦の影響により顧客の設備投資動向が不透明な状況であり、数値を合理的に算定することが困難であることから未定としておりました。しかしながら、最近の市場環境や顧客の設備投資計画について一定程度動向が把握出来つつあることから、現時点で入手可能な情報や予想などに基づき、数値を公表いたします。

なお、今回公表の通期業績予想につきましては、今後の社会情勢の状況や国内外の市場動向などの影響によって変動する可能性があり、実際の業績は今後様々な要因によって予測値と異なる場合がございます。

(ご参考) 事業セグメント別の見通し

①IoT 関連事業セグメント

海外顧客において設備投資が積極的に行われており、検査用光源装置の販売が好調となる見通しである一方、国内顧客においては検査用光源装置と比較して販売単価の低い瞳モジュールを中心とした設備投資が行われる見通しであるため、通期の売上高は前期と比べて減収となる見込みであります。

しかしながら、設備投資意欲は国内顧客を含めて全体的に前向きとなっているため、各顧客と綿密に情報交換を行いながら、受注の獲得を目指してまいります。

当セグメントの売上高は、通期で4,422百万円を見込んでおります。

(単位：百万円)

	2020年5月期 (実績)	2021年5月期 (予想)	増減率
売上高	4,642	4,422	△4.7%

## ②環境エネルギー事業セグメント

印刷機業界における市場規模の縮小傾向に加え、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により乾燥脱臭装置といった本体装置の受注は停滞しているものの、売上高については新型コロナウイルス感染症拡大前に受注した本体装置が売上計上されたことや、随時受注しているメンテナンス工事の売上計上が予定されていることから、前期と比較して増収となる見通しであります。

当セグメントの売上高は、通期で834百万円を見込んでおります。

(単位：百万円)

	2020年5月期 (実績)	2021年5月期 (予想)	増減率
売上高	813	834	2.7%

## ③インダストリー4.0推進事業セグメント

歯車試験機においては、自動車メーカーを中心に市況感は回復する兆しが見えておりますが、精密除振装置などを含むセグメント全体を通しては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による顧客の設備投資意欲低下により、売上高は前期より減収となる見通しであります。

今後については、可能な限り売上高を確保しつつ、中長期的な成長につながる新規製品の開発・販売及び人材育成を行ってまいります。

当セグメントの売上高は、通期で1,329百万円を見込んでおります。

(単位：百万円)

	2020年5月期 (実績)	2021年5月期 (予想)	増減率
売上高	1,627	1,329	△18.3%

以上